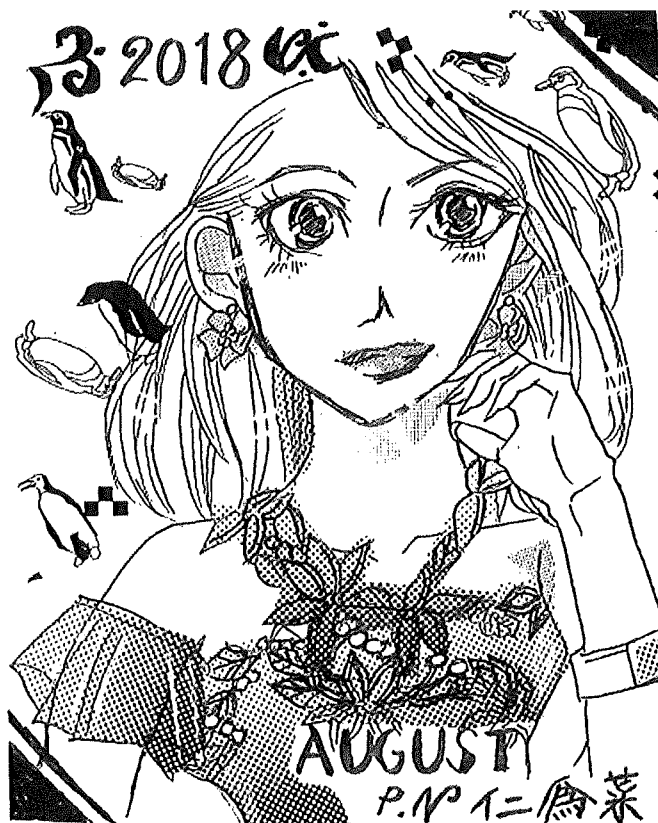


旅立ち

社会福祉法人しらとり会
利用者通信 (NO. 40)
平成 30 (2018) 年 8 月 1 日発行

今月は、5 名の方からの投稿です。



同志社大学物語 — established by 1875 — (vol.2)

同志社大経済学部不合格、商学部合格。

横浜市立大商学部不合格。

これが現役の時の僕の実力である。あろうことか、僕は不本意と思い、同志社大行きを止める。そして僕は、駿台予備学校京都校へ行くことにする。1980 年 4 月、駿台の寮に入ることにする。その寮は、左京区百万遍に位置していた。僕は、上昇しない自分の実力に危機感を持っていた。駿台の校内模試で偏差値 50 を超えていたのは、社会だけ、前期国立大文系クラスで 450 人中 375 番という情けない成績に終わる。

(YY)

落語・相の手都々逸

○「その鳥取砂丘に落書きをしている君達い！」。

(私ですか?)

「早急に止めてください！」。

○「その奈良の大仏に落書きをしている君達い！」。

「止めないと、ぶつぞー！」。

(岡本 祐子)



○市長になる能力のない市役所職員が歴代の市長を論評する。

○経営や管理能力のない経理マンが社長を論評する。

○政治能力のない法律家が政治家を論評する。

○元東京地検特捜部副部長は3年しか国会議員が勤まらなかった。

○東京地検特捜部の政治能力はたかがしれている。

○政治に無理解な野党が与党を批評している。

○現実与党になっても評価出来る政治は全くしなかった。

○学問オンリーの精神科医が試行錯誤しながら治療している。

○頭だけで支配すると、実行者のブレーキが効かず梓の中で精神障害を慈しみ大事に育てている。

(加藤忠男)

【投稿の募集】

利用者の皆様からの投稿をお待ちしています。

次回の締切は、8月16日(木)です。

『旅立ち』編集委員：加藤、本川、A-Z、H.A、Y.Y.